

「感謝、誠実」という花言葉を社名とし、社会貢献型人財育成事業に取り組むのはCampanula（カンパニユラ、福岡市）。その社長である権堂千栄実さん。「自分のようにキャ



リアで悩む人を支援したい」という想いが原動力だ。学生時代から親元を離れたと考えていた権堂さんは合格した県内の短大への入学を辞退し、自分で勤め先を探し就職した。しかし、仕事になじめず短期間で離



1992年住友銀行（現三井住友銀行）入社。新銀行東京とイオン銀行設立に参画後、キャリア支援のリソウルを設立。2010年に社会起業大学を設立。公益資本主義推進協議会副会長。

職業体験を融合させた社会貢献型研修事業「ジョブスタデイ・j p」を提案。学校も巻き込み、2010年に第1回を開催。その後、学生が仕事に向き合える貴重な場として先生方の口から「人を育成する」という意識を持ってもらわなければならぬと考え、企業の人財育成支援にも取り組む。クラウドサービス提供企業と組み、管理職の負担を軽減し社員が主体的に学び成

公益資本主義推進協議会 副会長

田中 勇一

地域の担い手地域で育成

「その後、32歳で結婚し、出産後はインストラクターの仕事に復帰した。企業の研修開発プロジェクトにも参画するなど活躍する中、42歳の時に、キャリアカウンセラー資格を取得。自分と同じく仕事に悩む人が多くいることを知った権堂さんは、その方々へのキャリア支援のため、思いきって力を転々とした末、ようやくカンパニユラを設立した。立ち上げ当初は、経営経験もなく不安が大きかったが、知り合いのつてなどで、再就職支援の仕事や大学な

どでの非常勤講師の話が来た。その後、仕事を通して「地元で働きたいが、働く場所がない」という声を多く聞くことになる。しかし、実際は地元には多くの魅力的な中小企業が人を求めている。求職者と企業の情報共有ができていないのだ。そこで、権堂さんは中小企業の社員研修と子どもの職業体験を融合させた社会貢献型研修事業「ジョブスタデイ・j p」を提案。学校も巻き込み、2010年に第1回を開催。その後、学生が仕事に向き合える貴重な場として先生方の口から「人を育成する」という意識を持ってもらわなければならぬと考え、企業の人財育成支援にも取り組む。クラウドサービス提供企業と組み、管理職の負担を軽減し社員が主体的に学び成長する育成システム「オートジョブトレーニング（AJT）」をリリースした。「ジョブスタデイ」と「AJT」を組み合わせ、地域の教育の土台を作り「地域の担い手は地域企業が育てる」という土壌を日本全国に広げたいと意気込む権堂さんの活動から目が離せない。